

令和6年砺波市教育委員会第7回定例会議事録

1 開会及び閉会に関する事項

開催日時 令和6年7月31日（水） 午前10時30分～午前11時36分

開催場所 砺波市役所 東別館会議室

2 教育長及び出席委員の氏名

白江 勉、林 克彦、齋藤 正樹、岩崎 納子、吉澤 めぐみ

3 会議に出席した者の氏名

安地 亮（事務局長）、幡谷 優（教育総務課長）、端谷 真奈美（こども課長）、金平 裕（生涯学習・スポーツ課長）、川合 直美（教育センター所長）、近藤 美恵子（小学校長会長）、加藤 雅美（保育所・認定こども園代表）、田中 博晃（教育総務課主幹）、水木 靖（教育総務課主幹）、平田 裕司（教育総務課主幹）、大浦 昭子（教育総務課庶務係主査）

4 会議に付した事項

（1）前回議事録の承認

（2）教育長報告

・事務局について（教育総務課、こども課、生涯学習・スポーツ課）

（3）議事

ア 議決事項

・議案第30号・・・令和7年度使用小中学校用教科用図書の採択について

イ 報告事項

・その他・・・教育関係機関所管事項について

（教育センター、小・中学校、保育所・認定こども園）

5 会議の要旨

教育長

令和6年砺波市教育委員会第7回定例会を開会いたします。

今年度の全国学力・学習状況調査の結果を文科省が29日に公表、昨日全国及び県の結果が報道発表されました。砺波市の結果は8月9日報道発表の予定です。この調査は小学校6年生と中学3年生を対象に文科省が4月に行ったもので、教科は国語と算数・数学で県は全教科で全国平均を上回ったものです。砺波市も予想を上回った結果であったことを嬉しく思っています。要因として小・中校長会で校長先生方が一体となって授業改善を進めた結果、市全体の授業が大きく変わり学力にも繋がっていると感じています。Q-Uの調査（QUESTIONNAIRE-UTILITES）つまり子供たちが教室に居場所があるか、居心地のよい教室にするための調査では、中学校が軒並み高い傾向で私見ですが、小さい規模の学校はどちらかというと低い傾向にあり、理由は学級編成がそのまま上がるためうまくいっているよ

うでじつは保証されていない傾向があったところ、中学校を見ても小規模校も良くなってきました。小学校では3年生以上が良く1～2年生は良くない傾向ですが、もともと1～2年生は下がる傾向にあるものの、低学年でも学び方をしっかり身に付け子供たちなりに進められるようになるのを見ていたので、今までなら学級経営力のある先生が担任をした時Q-Uは高く、次の年その先生が代わったら下がる傾向にありました。ところが今回、共通点があったのは、2～3年生、4～5年生で担任の先生が代わった時に下がっていませんでした。このことについて、私見ではありますが、子供たちは自分で学べるようになってきているのでQ-Uは下がらなかったと考えられること各種データを見ながら、いろんな所がリンクして結果になってきたことを大変嬉しく思っています。私見の推察が合っているならば、新規採用教諭が担任でも、前の年にしっかりと学び方を教えられていればある程度はうまくいく反面、低学年が低いところ、園で自分で主体性を発揮していたのが1年生になってスタートカリキュラムで連携をやっているところまだ甘く、子供の声に寄り添えていないところがあるのかもしれないという課題はあります。2学期からは市全体で「学び方の身につけさせ方」の方向性をいい意味でマニュアル化しながら若手教諭に提示していくことで、子供たちと一緒に授業の進め方や学び方をキャッチボールしながら進めていけたらさらに良くなるのではないかと思います、今後も進めていきたいと思っています。

教育長	それでは、前回議事録の承認についてお諮りします。
教育委員	意義なし。
教育長	第6回定例会から今日までの行事等報告を求めます。
教育総務課長	<総括的事項について報告・説明>
	<教育総務課所管分の事業について報告・説明>
こども課長	<こども課所管分の事業について報告・説明>
生涯学習・スポーツ課長	<生涯学習・スポーツ課所管分の事業について報告・説明>
教育長	質疑はありますか。
齋藤教育委員	保育・幼児教育施設合同園長会議と、保育所・認定こども園会議との違いを教えてください。
こども課長	保育・幼児教育施設合同園長会議は、公立・私立の園長合同の会議であり、保育所・認定こども園会議は、公立のみの園長と事務局の毎月定例的な会議です。
林教育長職務代理者	要保護児童対策地域協議会の要保護児童はどのような児童ですか。
こども課長	主には虐待です。保護者支援や、子供の支援をする団体が集まって現状報告を行う会議です。
林教育長職務代理者	本市に要保護児童はいるのですか。
こども課長	増えてきています。
教育長	ほかに質疑はありますか。
吉澤教育委員	B&Gマリーナフェスティバルの毎年の参加人数はどのような状況

	ですか。
生涯学習・スポーツ課長	昨年は大雨で中止、今年は朝から天気予報は雨ということもあり、例年よりは少なかったと感じています。昨年以前については、新型コロナ等もあったため対策のうえ実施しましたが、参加者は少なかったと感じています。ほかにも、毎年、マリーナフェスティバルに合わせて30人～40人の団体がキャンプに来てフェスティバルを楽しんでおられましたが今年は来られなかったため、いつもより少なく感じました。来年は天気がよければ人数は増えると思います。
吉澤教育委員	市外からの参加ということですか。
生涯学習・スポーツ課長	市外の方もおられますし、キャンプのお客さんが増えています。
齋藤教育委員	お盆の拠点保育の希望人数を教えてください。
こども課長	8月14日は39名、15日は29名。16日は37名の予定となっています。
齋藤教育委員	対応する職員は何名ですか、代休は取得できますか。
保育所・認定こども園長代表	8月14日は17名、15日は12名、16日は15名の職員で対応します。管理職が毎日2名ずつローテーションで就く予定であり、代休は13日など、別の日で取れるように配慮します。
林教育長職務代理者	職員は各園から来てもらうのですか。
保育所・認定こども園長代表	夏季の拠点保育のほか年末年始の拠点保育も行うため、所属の園の人数を年齢に合わせて、正規職員は年に1回ずつ協力してもらう体制を取っています。拠点保育を希望する園児数がだんだん増えてきているので、今年度から会計年度任用職員の先生方にも協力をお願いし、事前に希望を確認のうえ協力いただける方には年に1回ずつ依頼、また、次年度以降に向けて少しずつ職員を増やす体制を整えていきたいと思っています。
齋藤教育委員	夏休み中でも、認定こども園の「1号・2号・3号」認定で対応は違いますか、預かるのでしょうか。
保育所・認定こども園長代表	1号認定（幼稚園タイプ）は、夏季休業中は平日期間（夏休み）にあたるため小・中学校と同様に夏休みでも希望があれば8月は受入れをすることにはしていますが、今のところ希望者はありません。年末年始は1号認定は教育日ではないため入らず、2号と3号で保育が必要な園児のみお預かりする期間にあたります。
教育長	議事に移ります。 「議案第30号 令和7年度使用小中学校用教科用図書の採択について」は教科書採択における公正確保の徹底のため、県が公表するまでは非公開となりますので、非公開としてよろしいでしょうか。
教育委員	異議なし。
教育長	この案件に関しては非公開とし、最後に提案いたします。 次に教育関係機関からの報告を求めます。
教育センター所長	<教育センター所管事項について報告・説明>
小学校長会長	<小学校・中学校所管事項について報告・説明>
保育所・認定こども園長代表	<保育所・認定こども園所管事項について報告・説明>

教育長
岩崎教育委員

ご質問、ご意見はありますか。

特別支援研修会の「保護者の受け止める力を見極める」とありますが、子供が小さい時の健診で保健師さんとの面談で、グレーゾーンかなと思うと専門家の医師に相談することを勧められる話があったりしますが、なかなか受け止めきれない保護者もいると思います。学校訪問で特別支援学級の入級について伺ったところ、保護者から専門家の医師を受診して、診断書が出たら学校は受け入れているという話を伺いました。小・中学校のほうから保護者に対して特別支援学級に入ったほうがいいのかかもしれないという話はあるのですか。

教育センター所長

今は、早い段階で、園の時から少しずつ声掛けをしています。講師の先生の話では、大人になってからでは、仕事に行っても人間関係が築けずに嫌な思いをしたり、続かなかつたりすると、自己肯定感が下がるため、自己肯定感を高くして社会に送り出してあげることが大事になってくるとのことでした。今は、園の時から、小学校へ入学する時点で手立てをとっていますので、学校見学を希望された際には基本的には保護者の気持ちを大事にしながら、園で困っていることがあれば受け入れつつ、特別支援学級を含め、いろんな選択肢をお示しするようにしています。子供にとってどちらのほうが過ごしやすいか、1年生のうちは入級して、慣れたら通常級に戻したいという保護者が増えており、理解が深まっていると思う反面、祖父母側で理解してもらえずストップがかかり、年代の違いを感じるケースもあります。

齋藤教育委員

小学校のプール開放を今年から午前中にしたことは正解だったと思います。先日、様子を見てみると、朝9時過ぎから子供たちが小学校のプールまで歩いたり、自転車で行ったりと自由な感じで、みんな、とてもいい顔をしていました。話は変わり、先ほどの発達障害のことについては、早く見つけてあげて、適切な選択肢を勧めてあげることが本人にとって大事だと感じました。

吉澤教育委員

発達障害の症状を保護者が認めず、中学生になって特別支援学級に入級したけれど文字が書けないため、本人は苦しかったという話を聞いたことがあります。親が早めに認めて、対応してあげることが、本人や周りのためになるのではないかと思います。

林教育長職務代理者

24日のテレビで、県内のある中学校の終業式の様子が放映されていた中で校長先生が①交通事故、②水の事故、③SNSのトラブルに気をつけましようと話しておられ、実際に起きているのだろうと実感しました。本市での中学生のSNSのトラブルについて、事例はありますか、あればその程度について聞かせてください。また、話は変わり、他市の話ですが、小学校は携帯電話やスマートフォンを持ってきてもいいが、校内で開いてはいけない、中学校は持ってきてはいけないと聞いたことがあります。学校によって違うかもしれませんが、当市の状況についてお聞きします。

小学校長会長

SNSのトラブルについては小学生からあります。知らない人とも繋がれるため会うことになれば大きな事件につながる恐れがありま

	す。以前、出かけていったというような話が出てきた時はPTAと協力して研修会等を開催し、親子で聴いてもらう機会を設けました。中学生では、誹謗中傷やトラブルになるようなことを打ち込んでしまう事例が数十件と増えています。スマホの持ち込みについては、学校に公衆電話がないため、どうしても必要な児童生徒は下校時に連絡ができないなどあるため、各学校で預かる等の取り決めがあると思いますが、基本的には自分で管理することになっています。
教育長 岩崎教育委員	その他、意見交換に移ります。何かご意見などがありますか。 修学旅行で、学校は携帯電話やスマホを持って行ってはいけない物になっていましたが、保護者が持つて行くことを認めていた家庭が結構あったと聞いて驚きました。
小学校長会長	今は、タブレットが貸与されていますが、それ以前は調べ学習をスマホで行っていました。なかなか学校が踏み込めない部分もあり、ひと昔前は全部見つけて取り上げていたこともありましたが、それも個人情報理由に難しくなり、子供にいかに納得させるかが行く前の大事なところではないかと思います。
教育長 小学校長会長	修学旅行中の、班別学習の連絡はどのように取っていますか。 旅行会社からスマホを借りて班長に渡していました。あらかじめ、先生方の電話番号を登録しておきました。記録写真は、デジカメを学習係に渡し、班毎に使用しました。
林教育長職務代理者 教育総務課長 吉澤教育委員 林教育長職務代理者	生徒のスマホの所有率はどのような状況ですか。 小学校では約6割、中学校では約9割だと思います。 般若中学校は約85パーセントと聞いています。 昔は友達とゲームをするために家に集まっていたのが、今はそれぞれの家にいながらスマホでゲームをしています。
教育長	引き続き情報収集に努めていただければありがたいと思います。 それでは次回以降の開催日について。
教育総務課長	次回、令和6年第8回定例会を令和6年8月22日（木）午後1時30分から開催いたします。 また、令和6年第9回定例会を令和6年9月27日（金）午前10時30分から開催したいと考えておりますがいかがでしょうか。 いずれも場所は、この東別館会議室で行うことといたします。
教育委員	了承。 （教育委員会の閉会后、教育委員以外は退席する。）
教育長	先ほど非公開とした議事に移ります。 議案第30号の説明を求めます。
教育総務課長	砺波地区教科用図書採択協議会において、令和7年度に使用する中学校教科用図書の採択候補について協議が進められていました。 皆様のご了解を得て今後の手続きに入らせていただきます。 説明＜議案第30号 令和7年度使用小中学校用教科用図書の採択について＞
教育長	説明した事項について質疑はございますか。

各委員
教育長
各委員
教育長

質疑なし。

採択してよろしいでしょうか。

異議なし。

議案のとおり採択いたします。

令和6年砺波市教育委員会第7回定例会を閉会いたします。